



広島湾さとうみネットワーク 令和元年度 第3回ワークショップを開催しました！

前回（7月28日）のワークショップでは、今後のプロジェクトの活動計画の発表を行うとともに、広島湾さとうみネットワークの広報イベントの名称を「広島湾さとうみフェスタ2019」に決定し、イベントの企画について話し合いを行いました。

今回のワークショップでは、**広島湾さとうみネットワークのロゴマークを3案の中から決定**するとともに、11月4日（月・祝）に開催する**広島湾さとうみフェスタ2019**について、①**イベント全体のテーマ**、②**トークセッションのテーマと呼びたい人**、③**ブース展示のコンセプトと内容**について話し合いを行い、**イベント企画のとりまとめ**を行いました。また、新たに開設する**広島湾さとうみネットワークホームページのコンテンツ**について話し合いを行いました。

広島湾さとうみネットワークでは、正式な官民連携組織の発足に向けて準備を進めていきますので、引き続きワークショップ・イベントへのご参加や、会員の皆様がやってみたいことのご提案をお待ちしております！

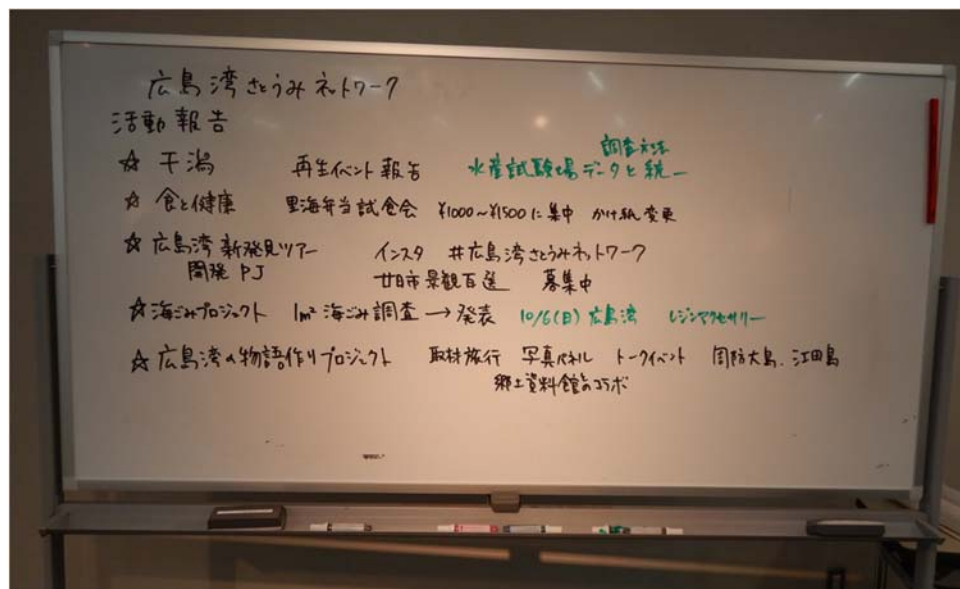
開催日：令和元年9月28日（土）13:30-17:00
会場：合人社ウエンディひと・まちプラザ4階ギャラリーA

参加者：20名

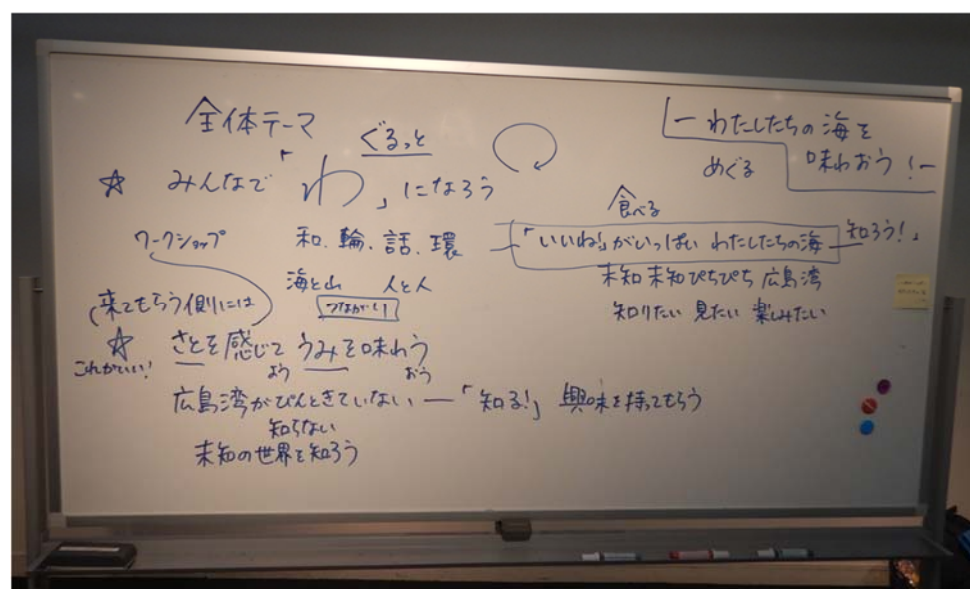
- プログラム（全体コーディネーター：県立広島大学 百武ひろ子 教授）：
- ・前回のワークショップの振り返り
 - ・広島湾さとうみネットワークのロゴマーク案の決定
 - ・各プロジェクトの活動報告
 - ・広島湾さとうみフェスタ2019の実施方針
 - ・広島湾さとうみネットワーク ホームページ案



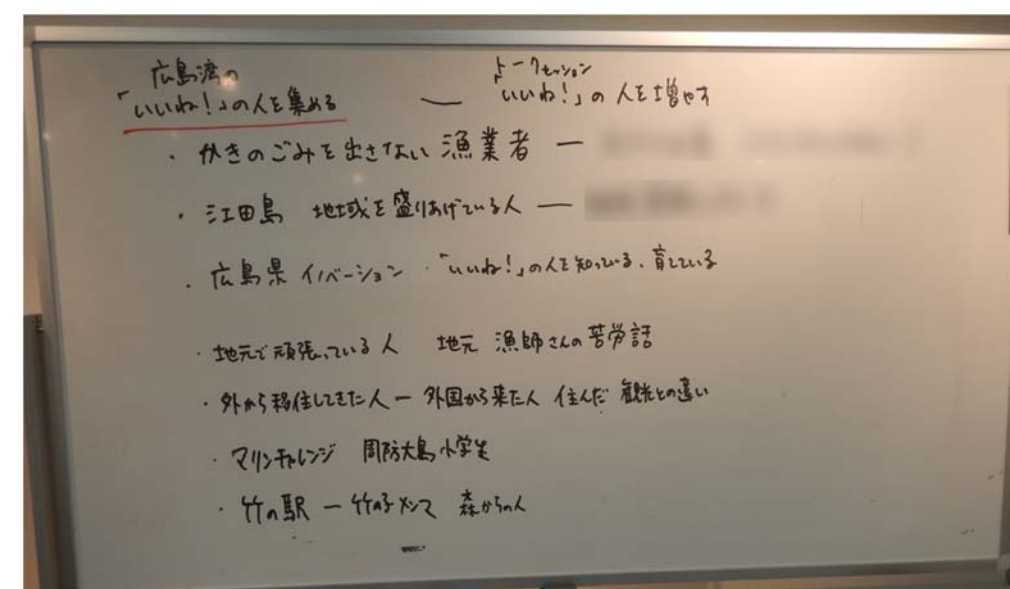
ワークショップの様子



各プロジェクトの活動報告



広島湾さとうみフェスタ2019の全体テーマの検討



トークセッションやブース出展内容の検討

広島湾さとうみネットワークのロゴマークは、会員（デザイナー）に3つの案を検討していただきました。この3つの案について、会員の皆様にメール・Facebook で事前に意見を伺い、それらの意見を参考にしながら話し合いを行い、**案（1）をロゴマークとすることに決定しました。**

案（1）
<決定>



<コンセプト>

- ・ブルーグリーンは夏の瀬戸内海の海を、ロゴタイプのブラウンは広島県の県章の色に併せて選定した。
- ・左上のギザギザは山を、右下の部分は瀬戸内海の穏やかな波をイメージした。

・話し合いの結果、ロゴマークのデザインは案（1）に決定。

- ・ただし、ロゴタイプ（文字色）については意味合いも含め再検討する。（広島湾は広島県と山口県に跨がっているため、広島県の県章の色は不適當）

<ワークショップでの意見>

- ・案（1）は、里海を知らない人（子どもから大人まで多世代）でもイメージしやすい。
- ・案（1）は山と海の循環がイメージできる。

案（2）



<コンセプト>

- ・ブルーグリーンは夏の瀬戸内海の海を、ロゴタイプのブラウンは広島県の県章の色に併せて選定した。
- ・案（1）の有機的なイメージとは方向性を変えて、それぞれの単語をローマ字表記した際の頭文字を使用した。
- ・外周部分をなぞると一筆書きのように繋がり、「循環」を意識したつくりとした。

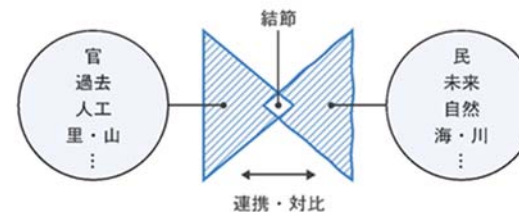
案（3）



<コンセプト> ~連携が育む豊かなさとうみ~

- ・HIROSHIMA BAY（広島湾）の頭文字「H」をモチーフに、官・民が連携して広島湾再生に取り組む姿勢を表現した。
- ・左側の幾何と右側の有機の三角形の対比は、広島湾を元来の自然豊かな里海へと再生していく様子を表している。
- ・シンボルマーク中央の空間は、本取り組みが豊かな海を次世代につなぐための「結節点」であることを示している。

シンボルマークの構成イメージ



ロゴ案	意見
(1)	<p>山と海を水が循環しているイメージにあう。四角よりも丸の方がいい マークが、山と波とのことですが、パッと見たとき、カモメと海、ネットワークのNとW。円形が地球の空と海・・・<u>いろんな発想が浮かぶ</u>マークだと思ったか わかりやすい。柔らかい感じがいい。</p> <p>海と山のイメージが伝わる。</p> <p>丸い感じが好き。</p> <p>パッと見た感覚です。説明抜きに「さとうみ」が感じられます。</p> <p>また、このロゴは、一般の方が「さとうみ」に興味を持ってくれそうな開放感がありますので、今後様々なイベント等で使ってもらえるようになると思います。</p> <p>海と山が輪廻している（循環）が見られる所。</p> <p>ロゴの認識が<u>容易に解かりやすい</u>為</p> <p>さとうみの活動をもっともよく表している</p> <p>最も分かりやすい。(2)、(3)もよいのですが、説明に時間を要する。</p> <p>行政区域としては当然山口県海域も含んでるものと考えべき。色を変えていただければ(1)(2)でも良いかと思えます。</p>
(2)	<p>かわいい。かっこいい。絶対これ！</p> <p><u>これなら私も参加したい。</u></p> <p>シンプルである</p> <p><u>グッズに作ったとき、デザインとして自然に溶け込む</u>感じがある</p> <p>行政区域としては当然山口県海域も含んでるものと考えべき。色を変えていただければ(1)(2)でも良いかと思えます。</p>
(3)	<p>ぱっと見た感じがおしゃれでかわいい！<u>どんなグッズにもしやすい</u>ですし、色合いが絶妙です。</p> <p>他の2つは広島県と言う説明で、同県だけがこの団体のエリアではないため。</p> <p><u>このマークの意味は何だ？</u>と考えられるところがおもしろい。</p> <p>シンプルなところ。かわいい。</p> <p>おしゃれ</p>
全体意見	<p>3案ともローマ字表記や英語表記はなじむまでに時間がかかりそうと思われます。</p> <p>特に HIROSHIMA BAY と表記すれば、高齢者にとっては直感的に遠ざけるような気がします。</p>

★「さとうみ」のイメージが伝わる

★若い世代に人気

★どんなグッズにもしやすい

☆干潟再生プロジェクト

- ・8月3日（土）に、八幡川河口干潟でアサリ養殖場整備イベントを行った。
- ・イベントでは、アサリの生育を促進する固形肥料を設置し、今後の成長の違いをモニタリングしていくこととした。
→モニタリングに当たっては、広島市水産試験場等が行っているモニタリング方法を調べ、調査方法を統一していくこととする。
- ・11月4日（月・祝）のイベント（広島湾さとうみフェスタ 2019）で、干潟の生き物の展示を計画する予定。



アサリ防護ネット張り替え



稚貝の採取（ふるい分け）



固形肥料の設置

八幡川河口部アサリ養殖場整備（8月3日）の様子

☆海ごみプロジェクト

- ・広島湾沿岸で、海ごみ調査（1m×1mの範囲）を実施中。
- ・10月6日（日）に開催される「はつかいち環境フェスタ 2019」で、マイクロプラスチックを用いたレジンアクセサリーづくりのワークショップを実施する。

☆広島湾新発見ツアー開発プロジェクト

- ・例として「はつかいち景観百選」を紹介し、この広島湾全域版でどうか、と相談中。一言コメントと合わせた募集で考えたい。
- ・他のプロジェクトが作成予定のマップへの埋め込みができると良いと考えている。
- ・今後、「広島湾の物語づくりプロジェクト」とコラボしたツアー（江田島市等）を企画する予定。

☆食と健康プロジェクト

- ・8月29日に、イノベーション・ハブ・ひろしま Camps にて瀬戸内さとうみ楽会のイベント（Meet Up Camps）を開催し、広島湾さとうみネットワーク会員以外の方に、里海弁当（¥1,500バージョン）を試食してもらった。
- ・参加者に投げ銭方式で値段を付けてもらったが、¥1,000円前後の値付けが多かったため、今後掛け紙やお弁当の内容について改良していく予定。
- ・11月4日の広島湾さとうみフェスタ 2019 でブース出展する内容（メニュー等）の検討を行った。

☆広島湾の物語づくりプロジェクト

- ・以下の日程で、フォトグラファーの方と一緒に、島で活躍している方や食にスポットを当てた取材を実施した。

①8月24日～25日（江田島市）

- ・江田島カヌークラブ
- ・（一社）広島湾地域資源ネットワーク
- ・Shirasuya E's
- ・前水産
- ・NORA DESIGN

②9月17日～18日（周防大島町）

- ・伊藤和弘氏（漁師）
- ・瀬戸内ジャムズガーデン
- ・KASAHARA HONEY
- ・せとうちつなぐキッチン
- ・周防大島町なぎさ水族館
- ・オイシーフーズ

- ・取材の結果は、写真パネルにして11月4日の広島湾さとうみフェスタ 2019 で展示するほか、写真に関するトークライブを開催する。

- ・11月4日の広島湾さとうみフェスタ 2019 では、広島市郷土資料館にご協力いただき、広島湾のかき養殖の物語にまつわる展示を実施する。

- ・新たに開設する広島湾さとうみネットワークのホームページで、今回の江田島市、周防大島町の取材で出逢った魅力的な人を掲載するページを作成する。

※イベント盛り上げプロジェクトについては、次回以降に活動報告する予定。

☆広島湾さとうみフェスタ 2019 の全体テーマ

「いいね！」がいっぱい わたしたちの海 に決定。

☆トークセッションのテーマ

広島湾の「いいね！」を増やす に決定。

☆トークセッションに呼びたい人

- ・かき養殖のごみを出さない漁業者
- ・江田島で地域を盛り上げている方
- ・広島湾の問題をイノベーションで解決しようとしている方
- ・地元で頑張っている方（漁師さんの苦労話）
- ・外から移住してきた方（外国から来た方→暮らしの違いや観光の違い）
- ・マリンチャレンジ（周防大島町の小学生）
- ・竹の駅で竹の子メンマを開発している方（海だけではなく森で活躍している方を入れる）

☆ブース出展、オープニングセレモニー等

- ・広島湾さとうみネットワークの各プロジェクトごとに、A1 サイズのパネルを製作する。
→プロジェクトリーダーに、パネルの様式を送付する。
→10月20日までに、パネルのたまかなデザインと素材を事務局に送付すること。
- ・イベントスペースのステージで、音楽を演奏していただける方を探す（ウクレレ演奏等）。
- ・プラスチックの代替のものをつくるワークショップの実施を検討する。
- ・広島湾さとうみネットワークのロゴマークをあしらったグッズを製作するワークショップを検討する。（ロゴマークのスタンプを押すワークショップなど）
- ・オープニングセレモニーで、赤色、黄色、青色の花びら茶による乾杯を行う。
- ・新たに山陽女学園がブースを出展する。
- ・ブース出展者には、広島湾さとうみネットワークの会員に登録していただく。

※ワークショップでいただいた意見や提案を踏まえ、今後フェスタの実行委員会で具体的なイベントの実施内容を詰める。

- ・ホームページのコンテンツに、「広島湾とは」、「広島湾さとうみネットワークとは」を加える。
- ・「広島湾の魅力マップ」は、カテゴリごとに閲覧できるようにして欲しい。
- ・トップページに「活動レポート」が最初に表示されても見ないと思う。人物の写真が最初にあった方がよい。
- ・広島湾の様々な、タイムリーな情報がわかるようにして欲しい。
- ・Facebook と Instagram にリンクを貼って欲しい。
- ・11月4日の広島湾さとうみフェスタ 2019 で、ホームページ（トップページのみでもよい）が公表できないか？

その他（連絡・案内事項）

①広島湾再生推進会議では、10月6日に開催される「はつかいち環境フェスタ 2019（廿日市市 新宮中央公園で開催）」において、ブース出展を行う旨の告知があった。

<https://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/soshiki/30/10123.html>

ブース名：広島湾再生推進会議
内 容：ミニタッチングプール（周防大島町なぎさ水族館全面協力）
マイクロプラスチックでアクセサリーをつくろう！
広島湾再生行動計画の取り組み紹介（パネル展示）

②瀬戸内さとうみ楽会（設立準備中の NPO 法人）より、イベントの開催案内があった。

- ・10/27：安芸太田町加計のかるがもファームで、野菜収穫+Take1 グランプリイベントを開催